

歴史遺産研究

Bulletin of the Department of Historic Heritage,
Tohoku University of Art and Design

第12号

目次

論文

押出遺跡における昆虫遺体を用いた
古環境変遷の考察

佐藤 恒介 SATO Kosuke (1)

岩手山・平笠岩屑なだれが縄文人に与えた影響
—土地の選択から見る縄文人の災害適応—

菊池 駿貴 KIKUCHI Toshitaka (13)

人間にとってたばこは何か
—近現代の日本の喫煙と禁煙の歴史を事例に—

三浦 宏子 MIURA Hiroko (31)

マレーシア華人にとって旗袍(チャイナドレス)とは何か
—サラワク州シブ市の華人社会を事例として—

謝 黎 XIE Li (49)



TOHOKU UNIVERSITY
OF ART & DESIGN

2018年
東北芸術工科大学
歴史遺産学科

東北芸術工科大学

歴史遺産研究

第12号 2018年

目次

Contents

論文

押出遺跡における昆虫遺体を用いた
古環境変遷の考察

佐藤 恒介 SATO Kosuke 1

岩手山・平笠岩屑なだれが縄文人に与えた影響
—土地の選択から見る縄文人の災害適応—

菊池 駿貴 KIKUCHI Toshitaka 13

人間にとってたばこは何か
—近代の日本の喫煙と禁煙の歴史を事例に—

三浦 宏子 MIURA Hiroko 31

マレーシア華人にとって旗袍(チャイナドレス)とは何か
—サラワク州シブ市の華人社会を事例として—

謝 黎 XIE Li 49

平成28年度芸術学部歴史遺産学科卒業論文

- 徳永 司 こもり岩岩陰の石器石材はどこからきたのか
- 菊池 駿貴 縄文時代早期から前期における岩手山周辺での遺跡分布 ― 遺跡立地からみる災害適応 ―
- 木野 史希 山形県内井戸の構造と掘削目的の変遷
- 渋谷 佳祐 地籍図から読み取る福島県棚倉町赤館城下町の景観復元
- 二子 裕行 盛岡城石垣の編年の再検討と双子石から見る築造技術の特色
- 佐藤 恒介 高島町押出遺跡より産出した昆虫化石から見る古環境の変遷と人々の環境選択
- 東海林怜奈 明治前期の山形県における娼妓と梅毒対策
- 高橋 千紘 第二次世界大戦後における引揚者・復員者による人口問題 ― 福島県伊達郡を事例として ―
- 三浦眞紀子 江戸時代中期における釣樋堰水論
- 別府 美空 米沢大正大火体験記『大火回顧録』から見る山形県立米沢工業高校の活動記録
- 佐竹 美香 江戸時代後期の宿駅をめぐる争い ― 羽州街道松原駅・天童宿の事例として ―
- 片桐 遼 18世紀末における慈恩寺と御料八楸村の土地争い
- 林 杏奈 18世紀後半における幕府領山口組の凶饑対策 ― 出羽国村山郡山口村・原町村を中心に ―
- 片桐 緑 祭りをつくる人々 ― ひがしね祭を事例に ―
- 三浦 宏子 人間にとってたばこは何か ― 近現代の日本の喫煙と禁煙の歴史を事例に ―
- 今野公美子 なぜ人は犬を食べるのか ― 東アジアの犬食文化を事例に ―
- 平 幹生 地域におけるまつりの役割に関する一考察 ― 山形県長井市五十川地区の獅子舞を事例に ―
- 長瀬 健志 副業的こんやく作りの役割 ― 山形県山形市楯山地域大字青野を事例として ―
- 平井 礼人 鳥獣被害防止と地域活性化の可能性 ― 山形県長井市伊佐沢地区の鳥獣被害の事例に ―
- 玉川 里沙 刀剣類がなぜ寺社に奉納されるのか
- 天野 友貴 亀傘鉾から見る文化移入と傘福の多様性 ― 山形県酒田市を事例に ―
- 本間かりん 図やスケッチで描く大鳥地区の生活誌
- 大門 恭輔 パリーグの歴史から楽天イーグルス誕生の要因を探る

東北芸術工科大学『歴史遺産研究』寄稿要項

1. 歴史遺産研究は東北芸術工科大学歴史遺産学科に関連する諸科学に関する論文・研究報告、調査報告等を掲載・発表することにより、学科教育と研究の発展に寄与するものである。
2. 歴史遺産研究に投稿することができる者は、以下の通りとする。1) 東北芸術工科大学の教職員(同客員、非常勤の教員を含む)、2) 東北芸術工科大学の名誉教授、3) その他、歴史遺産学科において適当と認められた者。
3. 原稿執筆における使用言語は日本語・英語を原則とする。
4. 寄稿する原稿には英文タイトルを添付する。
5. 原稿はA4判横書き、1頁2段組みで2,050字(25字×41行)とし、十分な余白を取る。(図、表、写真、図版などはそれぞれ別頁として準備する。さらにそれらのキャプションを別途準備する)。図版類の版下は1頁縦22cm×横14cmとする。
6. 原稿はパソコンで作成し、出力原稿2部(図表、写真等も含める)とCD等を添えて提出する。
7. 原稿の提出は11月末とする。
8. 原稿の提出は東北芸術工科大学歴史遺産学科とする。
9. 掲載した1原稿につき、別刷り50部までを無償とし、それ以上は筆者の負担とする。
10. 歴史遺産研究に掲載された論文等の著作権は、歴史遺産学科に帰属するものとする。

執筆者紹介

- 謝 黎 (東北芸術工科大学芸術学部准教授)
- 菊池 駿貴 (東北芸術工科大学大学院芸術文化領域歴史文化専攻修士課程1年
・2016年度東北芸術工科大学歴史遺産学科卒業)
- 佐藤 恒介 (株式会社都市景観設計
・2016年度東北芸術工科大学歴史遺産学科卒業)
- 三浦 宏子 (株式会社ジョイックスコーポレーション
・2016年度東北芸術工科大学歴史遺産学科卒業)

東北芸術工科大学
歴史遺産研究 第12号/2018

平成30年3月31日 発行

編集・発行 東北芸術工科大学芸術学部歴史遺産学科

〒990-9530 山形市上桜田3-4-5

印刷 田宮印刷株式会社